

※「独自」と表記がある設問は、国が参考に示す調査案「子供の生活状況調査」にない、追加した設問です。



項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
本人の性別	1	あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. 男 2. 女 3. その他（どちらともいえない、わからない、答えたくない）		【目的】性別の把握 【仮説】学習環境、社会活動への参加、精神的健康、将来の希望などに違いがある可能性 【検討】性別によるニーズの違いを考慮
学習習慣と学習時間	2	あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題も含みます。（あてはまるものすべてに○）	1. 自分で勉強する 2. 塾で勉強する 3. 学校の放課後に先生に教えてもらう 4. 家庭教師に教えてもらう 5. 地域の人が行う無料の勉強会に参加する 6. 家の人に教えてもらう 7. 友達と勉強する 8. その他（ ） 9. 学校の授業以外で勉強はしない		【目的】子どもの学習習慣や学習時間の確保状況を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、塾に通えない、家庭で集中して学習できる環境が整っていないなど、学習機会が制限される可能性 【検討】学習支援や環境整備の必要性
	3	あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含みます。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			
		（1）学校がある日（月～金）	1. まったくしない 2. 30分より少ない 3. 30分以上、1時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 2時間以上、3時間より少ない 6. 3時間以上		
学業不振の背景	4	あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 上のほう 2. やや上のほう 3. 真ん中あたり 4. やや下の方 5. 下の方 6. わからない・答えたくない		【目的】学業不振の状況と、その背景にある貧困の影響を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、基礎学力不足や学習習慣の欠如など、体験格差が学力形成に影響を与えている可能性 【検討】早期の学習支援の必要性 ※5aについては、選択肢を小学5年生から変更しています。
			1. いつもわかる 2. 大体わかる 3. 教科によってはわからない 4. わからないことが多い 5. ほとんどわからない		
	5a	前の質問（設問番号5）で3～5と答えた人にお聞きます。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）	1. 小学1・2年生のころ 2. 小学3・4年生のころ 3. 小学5・6年生のころ 4. 中学1年生のころ 5. 中学2年生になってから		
登校状況	6	あなたは通っている学校で欠席や遅刻、早退をすることがありますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）		独自	【目的】登校状況（欠席・遅刻・早退など）を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、登校に影響が出る可能性 【検討】学校生活への影響を把握し、必要に応じて支援を検討
		（1）欠席	1. よくある 2. たまにある 3. ほとんどない 4. まったくない		
		（2）遅刻	1. よくある 2. たまにある 3. ほとんどない 4. まったくない		
将来の夢	7	あなたは、将来の夢がありますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 会社員（事務・営業など） 2. スポーツ選手（サッカー、野球、バスケットボールなど） 3. 教師・先生（学校の先生、塾の先生など） 4. 看護師・医師・薬剤師など 5. 保育士・幼稚園の先生 6. アイドル・歌手・俳優・モデル 7. パティシエ・料理人 8. 動物に関わる仕事（獣医、トリマーなど） 9. 公務員（市役所・消防士・警察官など） 10. ゲームクリエイター・YouTuber・配信者 11. その他（ ） 12. まだ決まっていない 13. わからない・答えたくない	独自	【目的】将来の夢に関する意識を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、夢を諦めざるを得ない可能性 【検討】進学だけでなく将来の夢を見据えたキャリアプランの在り方を検討
			1. 自分がなりたいと思っていたから 2. その仕事をしている人にあこがれているから 3. テレビやSNSで見て「カッコいい」「楽しそう」と思ったから 4. 人の役に立てると思ったから 5. お金をかせげると思ったから 6. 家族や親がすすめているから 7. 兄や姉がそうしているから 8. 友達や先輩がそうしているから 9. 特に理由はない 10. その他（ ）	独自	
	7a	前の質問（設問番号7）で1～11と答えた場合、その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）			
将来の希望と進路選択	8	あなたは、将来、どのような進路を選びたいですか。（あてはまるもの1つに○）	1. 中学→就職や自営、家事など社会へ 2. 中学→高校→就職や自営、家事など社会へ 3. 中学→高校→専門学校→就職や自営、家事など社会へ 4. 中学→5年制の高等専門学校→就職や自営、家事など社会へ 5. 中学→高校→短大→就職や自営、家事など社会へ 6. 中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学→就職や自営、家事など社会へ 7. 中学、高校（または5年制の高等専門学校）→大学→大学院→就職や自営、家事など社会へ 8. その他（ ） 9. まだわからない		【目的】将来の希望や進路に関する意識を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、進学を諦めざるを得ない可能性 【検討】進学支援やキャリア教育の在り方を検討
	8a	前の質問（設問番号8）で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）	1. 希望する学校や職業があるから 2. 自分の成績から考えて 3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから 5. 周りの先輩や友達がそうしているから 6. 家にお金がないと思うから 7. 早く働く必要があるから 8. その他（ ） 9. 特に理由はない		
部活動等の社会参加	9	あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 参加している 2. 参加していない		【目的】習い事や地域の活動などへの参加状況とその背景を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、参加機会が制限される可能性（体験格差） 【検討】体験機会の提供に関する施策の必要性を検討
	9a	前の質問（設問番号9）で「参加していない」と答えた人にお聞きます。参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）	1. 入りたいクラブ・部活動がないから 2. 塾や習い事で忙しいから 3. 費用がかかるから 4. 家の事情（家族の世話、家事など）があるから 5. 一緒にいる友達がいらないから 6. その他（ ）		

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
食生活の状況	10	あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】欠食の有無とその理由を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、食生活や栄養に影響している可能性 【検討】子ども食堂やフードドライブ（フードバンク）との連携を検討
		（１）朝食	1. 毎日食べる（週7日） 2. 週5-6日 3. 週3-4日 4. 週1-2日、ほとんど食べない		
		（２）昼食（土日や夏休み、冬休み期間）	1. 毎日食べる（週7日） 2. 週5-6日 3. 週3-4日 4. 週1-2日、ほとんど食べない		
		（３）夕食	1. 毎日食べる（週7日） 2. 週5-6日 3. 週3-4日 4. 週1-2日、ほとんど食べない		
	11	前の質問（設問番号10）で2～4と答えた人にお聞きします。 あなたが朝食・昼食・夕食を食べない理由は何ですか。（あてはまるものそれぞれすべてに○）			
		（１）朝食	1. 時間がない 2. おなかがすいていない 3. 用意されていない 4. 食べる習慣がない	独自	
		（２）昼食（土日や夏休み、冬休み期間）	1. 時間がない 2. おなかがすいていない 3. 用意されていない 4. 食べる習慣がない	独自	
		（３）夕食	1. 時間がない 2. おなかがすいていない 3. 用意されていない 4. 食べる習慣がない	独自	
就寝・起床時間の規則性	12	あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。または起きていますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】心身の健康や学力に影響を及ぼす睡眠時間や生活リズムに関する実態を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、住環境や保護者の就労状況などが睡眠に影響を及ぼす可能性 【検討】生活習慣の支援の必要性を検討
		（１）寝るとき	1. そうである 2. どちらかといえばそうである 3. どちらかといえばそうではない 4. そうではない		
	13	（２）起きるとき	1. そうである 2. どちらかといえばそうである 3. どちらかといえばそうではない 4. そうではない	独自	
		（１）寝るとき	1. 夜9時より前 2. 夜9時台 3. 夜10時台 4. 夜11時台 5. 夜12時より後	独自	
		（２）起きるとき	1. 朝6時より前 2. 朝6時台 3. 朝7時台 4. 朝8時台 5. 朝9時より後	独自	
入浴の頻度	14	あなたは週に何日くらいお風呂（シャワーのみも含む）に入りますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 毎日、週6回 2. 週に4-5回 3. 週に2-3回 4. 週に1回 5. はいらない	独自	【目的】入浴の頻度や衛生習慣について把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、生活環境や健康状態に影響を及ぼす可能性 【検討】衛生支援や住環境改善の必要性を検討
心身の体調	15	あなたの最近の体調を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない	独自	【目的】心身の健康状態を包括的に把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、栄養不足、ストレス、医療へのアクセス不足などから、健康上の問題を抱えやすい傾向 【検討】医療支援や健康相談体制の整備の必要性を検討
インターネット	16	あなたが利用できる携帯電話（スマートフォン）はありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. ある 2. ない 3. 答えたくない	独自	【目的】スマートフォンやインターネットの利用状況 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、情報格差が生じている可能性 【検討】情報提供とネットリテラシー教育の必要性を検討 ※子ども・若者意識調査でも同じものを聞きます。
	17	あなたは、スマートフォン（スマホ）やパソコンなどを使って、1日に大体何時間くらいインターネット（SNS・動画サイト・オンラインゲーム・マンガなど）を利用していますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			
		（１）平日	1. 0時間～1時間未満 2. 1時間～2時間未満 3. 2時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間～8時間未満 6. 8時間以上 7. 全く利用していない	独自	
		（２）休日	1. 0時間～1時間未満 2. 1時間～2時間未満 3. 2時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間～8時間未満 6. 8時間以上 7. 全く利用していない	独自	
	18	あなたは、インターネットの危険性について、これまで学校や家、パンフレットなどで説明を受けたり、学んだことがありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 説明を受けたり、学んだことがある 2. 説明を受けたり、学んだことがない 3. わからない	独自	
	19	あなたは、インターネットを利用して、いやな気持ちになったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 知らない料金を請求された 2. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった 3. インターネットショッピングなどで買った商品が届かなかったり不良品が届いたりした 4. オンラインゲームで、アイテムがなくなったり、ゲームができなくなったり、課金するつもりがなかったのに課金した 5. LINEやX（旧Twitter）、メールなどで、馬鹿にされたりいやがらせを受けたりした 6. 名前や住所、メールアドレスなどの自分のことや写真を勝手に使用された 7. 迷惑メールがたくさん送られてきた 8. コンピュータウイルスに感染した 9. つきまとい、いやがらせなどをされた 10. その他（ ） 11. 被害にあったことはない	独自	
悩みや困りごとと相談相手	20	今あなたは、次のことで、いやなことや悩んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 家族のこと 2. 学校や勉強のこと 3. クラブ活動のこと 4. 自分の外見や体型等のこと 5. 友達のこと 6. 好きな人のこと 7. 進学・進路のこと 8. その他（ ） 9. 答えたくない 10. いやなことや悩んでいることはない	独自	【目的】子どもが現在抱えている悩みや困難、そしてそれを相談できる相手がいるかどうかを把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、経済的な問題だけでなく、人間関係、学習、将来への不安など、様々な悩みを抱え、相談先が限られる可能性 【検討】精神的なサポート体制や相談先の整備の必要性を検討 ※相談体制は、子ども・子育て支援事業計画の課題、こどもまんなか実行計画と本市がマッチする施策、仮説設定における体制など、本市の検討点に多角的に関わる部分のため、より詳細な情報を把握したいと考えます。 そのため、精神的なサポートを考える際に、重要な悩みだけ親に相談し、日常の悩みは抱え込む、またはその逆など、使い分けられる場合、相談相手がある層としてカウントするとモレが大きい可能性があるため、2つに分けて質問します。
		あなたに困っていることや悩みごとがあると、あなたが相談できると思う人はだれですか。（あてはまるものそれぞれすべてに○）			
	21	（１）小さな悩み	1. 親 2. きょうだい 3. 祖父母など 4. 学校の先生 5. 学校の友達 6. 学校以外の友達 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど 8. その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など） 9. ネットで知り合った人 10. 誰にも相談できない、したくない 11. わからない・答えたくない		
		（２）大きな悩み	1. 親 2. きょうだい 3. 祖父母など 4. 学校の先生 5. 学校の友達 6. 学校以外の友達 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど 8. その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など） 9. ネットで知り合った人 10. 誰にも相談できない、したくない 11. わからない・答えたくない		

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討	
主観的幸福度（生活満足度）	22	全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。（あてはまるもの1つに○）	0. まったくしていない - 10. 十分に満足している		【目的】子ども自身の生活への主観的な満足感や幸福感を把握 【検討】客観的な状況だけでなく、本人の感じ方を把握し、生活の質の向上に資する施策を検討	
精神状態	23	以下のそれぞれの質問について、回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】心身の健康、情緒面、対人関係などを多面的に捉える 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どもは、精神的ストレスや孤立感などがある可能性 【検討】応じたケアや居場所づくり、社会性支援の検討	
		（１）私は、他人に対して親切にするようにしている。私は他人の気持ちをよく考える。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（２）私は、よく頭やおなかが痛くなったり、気持ちが悪くなったりする。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（３）私は、他の子どもたちとよく分けう（食べ物・ゲーム・ペン等）	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（４）私はたいいて一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（５）私は心配事が多く、いつも不安だ。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（６）私は誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、いやな思いをしている時など進んで助ける。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（７）私は仲の良い友達が少なくとも一人はいる。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（８）私は落ち込んで沈んでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（９）私は同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（10）私は新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（11）私は年下の子どもたちに対して優しくしている。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（12）私は他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（13）私は、自分から進んでよくお手伝いをする。（親・先生・子どもたちなど）	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（14）私は他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
		（15）私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1. あてはまる 2. 少しあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない			
暮らし向き（主観）	24	あなたは今までに、以下の（１）－（８）のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. ひとつもあてはまらない（0個） 2. 1～2個あてはまる 3. 3～4個あてはまる 4. 5～7個あてはまる 5. すべてあてはまる（8個） 6. わからない・答たくない		【目的】虐待やネグレクト、家庭の混乱、保護者の依存症や精神疾患など、子どもが経験している可能性のある困難な家庭状況を具体的に把握 【検討】児童虐待の予防や家庭支援の体制づくり、そして地域でのセーフティネット強化を考える	
		（１）一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある。 （２）一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある。 （３）家族の誰からも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある。 （４）必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人は誰もいないと感じる。 （５）両親が別居または離婚をしたことが一度でもある。 （６）一緒に住んでいる家族が誰かに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または繰り返し殴られたり、刃物などで脅されたことが一度でもある。 （７）一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうような振る舞いをした人がいる。 （８）一緒に住んでいる人、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる。				
逆境体験	25	あなたが今までに、つらい気持ちになったり、不安になったりした「家庭のことでの大きなできごと」がありましたか。（あてはまるもの1つに○）	1. あった 2. なかった 3. わからない 4. 答たくない	独自	【目的】親の病気、失業、DV、離婚など、家庭内で子どもの精神的ストレスとなる出来事の有無を把握 【検討】精神的ケアや、家庭全体への包括的支援が必要かどうかを検討 ※ナイーブな質問のため、掲載には検討が必要ですが、「暮らし向き（主観）」に関する設問を表現を柔らかくし、回答しやすい形に修正しています。どちらか一方のみを質問ことも検討しています。	
	25a	前の質問（設問番号25）で「1. あった」と答えた人にお聞きます。その「大きなできごと」として、あてはまるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）	1. お父さんやお母さんがけんかばかりしていた 2. お父さんやお母さんが家になくなった（離婚・別居など） 3. 家族の中に病気やけがで長い間つらそうな人がいた 4. 家族のことで、警察や役所の人々が家に来たことがある 5. 家のことでお金がなくて困ったことがある 6. ひどいことを言われたり、たたかれたりしてこわかったことがある 7. 学校に行くのがつらい時期があった（家庭のことで） 8. ほかの人には言えないような、つらい思いをしたことがある 9. その他（ ） 10. わからない・答たくない	独自		
居場所	26	あなたにとっての「安心できる場所」はどこですか。（あてはまるもの3つまでに○）	1. 自宅（自分の部屋） 2. 自宅（リビングなど自分の部屋以外） 3. 祖父母や親せきの家 4. 友だちの家 5. インターネット空間（SNS・動画サイト・オンラインゲームなど） 6. 学校（教室） 7. 学校（保健室や図書室など教室以外） 8. 部活動・クラブ活動・サークル活動の場所（過去に活動していた場所を含む） 9. フリースクール 10. 居場所スペース（フリースペースなど） 11. 塾や習い事の場所 12. 公園や児童館、図書館 13. その他（ ） 14. わからない 15. 安心できる場所はない	独自	【目的】安心して過ごせる場所の有無や、理想とする居場所の特徴を尋ねる 【検討】子どもにとって安心できる環境の必要性を探り、地域のフリースペース設置や居場所支援の方向性を検討 ※居場所は、本市の検討点に多角的に関わる部分のため、より詳細な情報を把握したいと考えます。 そのため、概略的な設問ではなく、居場所の定義や他の収集情報とリンクした内容とします。 また、検討段階における居場所定義としては、ホッと（一息）できる居場所（マイブレイス型）と、他者と触れ合う居場所（交流型）を設定しています。	
	26a	（設問番号26の続き）また、その「安心できる場所」を選んだ理由としては、どちらに近いですか。（あてはまるもの1つに○）		独自		
		（１）人の部分（どちらにも同じくらいあてはまる場合は5に○）	一人で過ごすため 0 — 10 他の人と交流するため 11. 特にない、わからない			
		（２）目的の部分（どちらにも同じくらいあてはまる場合は5に○）	リラックスのため 0 — 10 自分の成長のため 11. 特にない、わからない			
	27	あなたは、次の（１）－（３）のような場所を利用したことがありますか。また、それぞれ1つに○）		利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）		【目的】子ども食堂や学習支援、相談窓口などの既存支援についての認知度、利用経験、その効果などを把握（実際に子どもたちに届いているか、どのようなニーズがあるか、そして利用することでどのような良い変化があったかを把握） 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある子どものニーズとギャップがある可能性 【検討】支援の届き方や改善点を検討
		（１）（自分や友人の家以外で）食事を無料が安く食べることができる場所	1. 利用したことがある 2. 利用したことはないが、あれば利用したい 3. 利用したことはなく、今後も利用したいと思わない 4. 利用したことはなく、今後利用したいかどうかかわからない			
（２）勉強を無料でみてくれる場所		1. 利用したことがある 2. 利用したことはないが、あれば利用したい 3. 利用したことはなく、今後も利用したいと思わない 4. 利用したことはなく、今後利用したいかどうかかわからない				
（３）（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）		1. 利用したことがある 2. 利用したことはないが、あれば利用したい 3. 利用したことはなく、今後も利用したいと思わない 4. 利用したことはなく、今後利用したいかどうかかわからない				
27a	前の質問（設問番号27）で、1つでも「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）		1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ホッとできる時間が増えた 5. 栄養のある食事を取れることが増えた 6. 勉強がわかるようになった 7. 勉強する時間が増えた 8. その他（ ） 9. 特に変化はない			

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
情報の入手先	28	あなたは、必要な情報を何から知ることが多いですか。（あてはまるものそれぞれすべてに○）		独自	【目的】 貧困調査対象のこどもの情報収集方法について把握 【検討】 子ども・子育て支援事業計画の課題である「わかりやすい情報発信」の検討
		(1) 勉強	1. 親 2. きょうだい 3. 祖父母など 4. 学校の先生 5. 学校の友達 6. 学校以外の友達 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど 8. その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など） 9. ネットで知り合った人 10. インターネット（Google、Yahooなど） 11. SNS（YouTube、Instagram、TikTokなど） 12. 雑誌や新聞、本など 13. その他（ ） 14. わからない・答えたくない		
		(2) 遊び	1. 親 2. きょうだい 3. 祖父母など 4. 学校の先生 5. 学校の友達 6. 学校以外の友達 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど 8. その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など） 9. ネットで知り合った人 10. インターネット（Google、Yahooなど） 11. SNS（YouTube、Instagram、TikTokなど） 12. 雑誌や新聞、本など 13. その他（ ） 14. わからない・答えたくない		
		(3) それ以外	1. 親 2. きょうだい 3. 祖父母など 4. 学校の先生 5. 学校の友達 6. 学校以外の友達 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど 8. その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など） 9. ネットで知り合った人 10. インターネット（Google、Yahooなど） 11. SNS（YouTube、Instagram、TikTokなど） 12. 雑誌や新聞、本など 13. その他（ ） 14. わからない・答えたくない		
行政（栗東市）に求める施策	29	あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない 3. 聞いたことがない	独自	【目的】 子どもが行政に意見を伝えたいと思っているか、どのような方法であれば伝えやすいかを把握 【検討】 子どもの声を施策に反映させるための仕組みづくり（例：意見箱やSNS活用）やルールの検討 ※子どもの権利条約やこども基本法は、行政のみに対するものではなく、地域や家庭、社会全体が捉えるべき視点であり、行政はそれら全体に対して施策を講じる必要があると考え、身近な周りをイメージしてもらうため、設問から「行政（市役所）に対して」を削除しています。
	30	子ども・若者のみなさんが、地域や家庭で、自分の意見を伝えやすい環境づくりをしたいと考えています。あなたは、どんな方法や手段があれば、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 市役所などの市の施設で、対面で伝える 2. 自分の学校で、対面で伝える 3. 公園や児童館、カフェなど普段自分が利用する場所で、対面で伝える 4. 電話や通話アプリで伝える 5. 手紙で伝える 6. メールで伝える 7. インターネットのアンケートに答える 8. オンライン（インターネット上）の会議で伝える 9. SNS（LINE・X（旧Twitter）・Instagramなど）で伝える 10. その他（ ） 11. 伝えたい意見はない	独自	
ヤングケアラー	31	あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことがあるが、よく知らない 3. 聞いたことはない	独自	【目的】 ヤングケアラーの認知度 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある子どもは、生活に影響を及ぼす可能性 【検討】 ヤングケアラーへの支援の必要性を検討
	32	あなたは、「自分はヤングケアラーにあてはまる」と思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. あてはまる 2. あてはまらない 3. わからない		
	33	あなたが家族のお世話をすることはどのくらいありますか。※「お世話」とは、普通大人がするような家事や家族のお世話をことをいいます。（あてはまるもの1つに○）	1. ほぼ毎日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 1ヶ月に数日	独自	